

～研究を楽しむためのセミナー 2016～

「クローナル造血の臨床的意義」

高橋 康一 先生

Assistant Professor,
Department of Leukemia, Division of Cancer Medicine,
The University of Texas MD Anderson Cancer Center, Houston, TX

2016年7月26(火)

16: 00 ~ 17:30

場所 ; 9号館 4 F 第2会議室

高橋康一先生は新潟大学医学部を卒業後、虎の門病院での臨床研修後に渡米。ニューヨーク、ベスイスラエルメディカルセンターで内科研修を修了し、現在は血液腫瘍の領域で最も権威のあるテキサス MD アンダーソン癌センターでAssistant Professorとして働いておられます。今回は来日された高橋先生の忙しい合間を縫って、順天堂大学にてセミナーをお願いいたしました。M. D. Anderson Cancer Centerでの臨床の最前線や最新の研究成果の他、米国臨床留学までの経験と、留学中、そしてその先の道へと、ご自身の体験を踏まえてご講演いただきます。貴重な機会ですので、どうぞ奮ってご参加ください。

<主催>

**がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
先導的がん医療開発研究センター**

03-6801-5736 (PHS; 72558、担当：今井)